

ボクシング

- 1 主 催 長崎県高等学校体育連盟 長崎県教育委員会
- 2 後 援 長崎県、(公財)長崎県体育協会、長崎市、長崎市教育委員会
長崎県ボクシング連盟
- 3 日 時 平成30年6月2日(土)～4日(月)
- 4 会 場 長崎市諏訪体育館ボクシング場 長崎市上西山19-15
- 5 階 級 ピン級からミドル級までの8階級
- | | | | | | |
|-----------|---|----|-------|----|-------|
| ・ピン | 級 | 44 | kg 超過 | 46 | kg まで |
| ・ライトフライ | 級 | 46 | kg 超過 | 49 | kg まで |
| ・フライ | 級 | 49 | kg 超過 | 52 | kg まで |
| ・バンタム | 級 | 52 | kg 超過 | 56 | kg まで |
| ・ライト | 級 | 56 | kg 超過 | 60 | kg まで |
| ・ライトウェルター | 級 | 60 | kg 超過 | 64 | kg まで |
| ・ウェルター | 級 | 64 | kg 超過 | 69 | kg まで |
| ・ミドル | 級 | 69 | kg 超過 | 75 | kg まで |

6 競技日程

月日	曜	健診・計量			競技日程	
6月2日	土	8:50 9:00	点呼 健診・計量	全選手	10:00 11:00 15:00	監督会議・抽選会 開会式 競技開始
6月3日	日	8:50 9:00	点呼 健診・計量	当日 出場者	12:00	競技開始
6月4日	月	8:50 9:00	点呼 健診・計量	当日 出場者	12:00 終了後	競技開始 閉会式

※点呼の時間に間に合わなければ失格となる。

- 7 競技規則 (一社)日本ボクシング連盟競技規則を適用する。

8 競技方法

- (1) 個人戦とするが、学校対抗を兼ねる。
- (2) トーナメント方式で行い、優勝、準優勝、及び第3位を決定する。ただし、3位決定戦は行わない。
- (3) 上位大会への不参加者がいる階級は、決勝戦の日に選考会を実施する。なお、KO・RSC負けをした選手は参加できない。

9 得点規定

- (1) 抽選の不戦勝を除いて1勝毎に1点を加算する。
- (2) 優勝には5点、準優勝には3点を加算する。

10 学校順位決定の方法

- (1) 個人の得点の合計点で決定する。
- (2) 同点の場合は、優勝の数が多い学校を優位とする。
- (3) (2)が同点の場合は、準優勝の数が多い学校を優位とする。
- (4) (3)が同点の場合は、3位の数が多い学校を優位とする。
- (5) (4)で同点の場合は、同位とする。
- (6) 全日制課程、定時制課程および通信制課程は別とする。

11 参加資格

- (1) 選手は、都道府県高等学校体育連盟に加盟している生徒で、当該競技要項により全国大会参加の資格を得た者に限る。
- (2) 1年生および初めて試合をする2年生においては出場資格証明書を参加申込書と一緒に提出すること。
- (3) 申し込み日までに、(一社)日本ボクシング連盟へ平成30年度の登録済みもしくは申請中の生徒に限る。(未登録者は申し込みを受け付けない。)

- (4) 選手は、選手手帳を携行すること。※不携行の場合は出場できない。
- ① 競技会場において選手手帳を忘れた選手には新たな更新はできない。
 - ② 選手手帳は、決勝まで記入できる記録欄があること。(コピーは不可)
※途中で記録欄がなくなった場合は、失格となる。
 - ③ 選手手帳を更新した場合、前の手帳も持参すること。
※持参しない場合も失格となる。
 - ④ 選手手帳には必ず写真を貼付すること。
※写真のない場合も失格となる。

1.2 参加制限

- (1) 各校各階級2名までとする。
(全日制課程、定時制課程及び通信制課程は別とする。)
- (2) 各校監督1名、サブセカンド1名、引率責任者1名までとする。
 - ア 監督、チーフセカンド、サブセカンドは(一社)日本ボクシング連盟に登録されている者であること。
 - イ セカンド(チーフセカンド、サブセカンド)については、「公認セカンドに関する規定」・「公認セカンド制度に関する規定運用細則」に基づく資格を有しなければ、本大会のセカンドとして行動できない。
 - ウ 未登録の引率者のみの参加の場合、競技中のチーフセカンド・サブセカンド業務を他の登録者に依頼してもかまわない。
※事前に申請のこと。

1.3 選手変更

申し込み後の選手及び階級の変更はできない。

1.4 表彰

- (1) 個人表彰：各階級優勝者、準優勝者、3位(2名)の各選手を表彰する。
- (2) 各階級の1, 2位の選手は全九州大会の出場権を得る。
ただし、1, 2位の選手が上位大会に出場できない場合は、選考会により選出された選手が代わりに出場権を得る。
- (3) インターハイの出場権は、男子ライトフライ、フライ、バンタム、ライト、ライトウェルター級の1位の選手に与える。ピン、ウェルター、ミドル級の1位の選手は、(2)の全九州大会において6位内入賞でインターハイの出場権を得る。
- (4) 学校表彰：優勝、準優勝、3位の各学校を表彰する。優勝校には長崎県高体連優勝旗を授与する。
- (5) 学校表彰は、閉会式にて行う。

1.5 注意事項<重要>

- ① 各自持参するもの。
 - ア 選手手帳
本年度の健康診断記録に必要事項が記載されていること。また、CT・心電図に関しても同様に記載されていること。未記載の場合は所定の記録用紙を手帳に添付しておくこと。
 - イ 競技用のヘッドガード
前頭部及び側頭部に学校名等(刺繍も含む)の記入が無いもの。また、(一社)ボクシング連盟またはAIBAの検定品で競技用に限る。
※持っていない場合は連盟保有のものを借用のこと。
 - ウ カッププロテクター
着用しない場合は失格とする。
 - エ 競技用ユニフォーム(赤・青 背中に県名表示)、トランクス、シューズ、トランクスの丈はヒザ頭が全部見える程度。グロービング、リング上で指導があった場合は速やかに着替えること。できない場合は失格とする。
 - オ ガムシールド(マウスピース)
赤系は不可。着用しない場合は失格とする。
 - カ バンテージ
(一社)日本ボクシング連盟検定品を使用すること。違反が認められた場合は失格とする。
 - キ 健康申告書
必要事項を各自で記入し、引率責任者・指導者に記名捺印してもらうこと。
- ② 競技用ユニフォーム
 - ア 赤コーナーは赤色、青コーナーは青のユニフォームとトランクスを着用すること。
 - イ 背中に県名が表示してあること。
 - ウ トランクスの丈はヒザ頭が全部見えること。
- ③ 選手、監督等は健康保険証・健康申告書を持参すること。